

# GP 香港 2015 參加記



2015/8/7 (金) -9 (日)

九龍灣國際展貿中心 (KITEC)

# 目次

|                                             |    |                                  |    |
|---------------------------------------------|----|----------------------------------|----|
| <a href="#">この本について</a>                     | 2  | <a href="#">朝食ののち、タクシーで会場へ</a>   | 17 |
| <a href="#">GP 香港 2015 について</a>             | 2  | <a href="#">GP 本戦開始</a>          | 17 |
| <a href="#">GP 香港への参加を決め、航空券を購入</a>         | 3  | <a href="#">VIP ラウンジでくつろぐ</a>    | 19 |
| <a href="#">GP 香港 2015 の参加申し込みをする</a>       | 3  | <a href="#">Round クロックのひみつ</a>   | 20 |
| <a href="#">マカオ観光も入れる</a>                   | 4  | <a href="#">GP 本戦離脱</a>          | 21 |
|                                             |    | <a href="#">火鍋タイム</a>            | 22 |
| <b>2015 年 8 月 6 日 (木)</b>                   |    |                                  |    |
| <a href="#">出発の夜</a>                        | 6  | <b>2015 年 8 月 9 日 (日)</b>        |    |
|                                             |    | <a href="#">スーパーサンデーシールドの朝</a>   | 23 |
| <b>2015 年 8 月 7 日 (金)</b>                   |    | <a href="#">会場で朝食</a>            | 24 |
| <a href="#">香港空港の朝食</a>                     | 7  | <a href="#">スーパーサンデーシールド開始</a>   | 25 |
| <a href="#">当座の通信を確保</a>                    | 8  | <a href="#">賞品圏が見えてきた</a>        | 27 |
| <a href="#">タクシーで KITEC へ</a>               | 8  | <a href="#">そして賞品をゲットしたが…</a>    | 28 |
| <a href="#">Last Chance Trial ポッド 6</a>     | 9  | <a href="#">旺角のアニメイトへ</a>        | 29 |
| <a href="#">VIP エントリーを済ませる</a>              | 11 | <a href="#">信和中心へ</a>            | 30 |
| <a href="#">Last Chance Trial ポッド 14</a>    | 11 | <a href="#">MTR で尖沙咀へ</a>        | 31 |
| <a href="#">通信回線再チャレンジと夕食</a>               | 12 | <a href="#">夕食は鶏粥にする</a>         | 32 |
| <a href="#">フォイル争奪ドラフト</a>                  | 13 |                                  |    |
| <a href="#">China Emperor Hotel にチェックイン</a> | 14 | <b>2015 年 8 月 10 日 (月)</b>       |    |
| <a href="#">今度こそスマホの通信を確保</a>               | 15 | <a href="#">マカオ観光</a>            | 33 |
| <a href="#">シャワーを浴びて寝る</a>                  | 15 | <a href="#">朝食はやはりマカオレストラン</a>   | 33 |
|                                             |    | <a href="#">マカオ行きのフェリーの切符を買う</a> | 34 |
| <b>2015 年 8 月 8 日 (土)</b>                   |    | <a href="#">フェリーに乗る</a>          | 35 |
| <a href="#">GP 本戦の朝</a>                     | 16 | <a href="#">マカオ入国</a>            | 35 |
| <a href="#">ドアのチェーンロックを壊す</a>               | 16 | <a href="#">ホテルにチェックイン</a>       | 36 |

|                               |    |                            |    |
|-------------------------------|----|----------------------------|----|
| <a href="#">ホテルのバフェイで昼食</a>   | 37 | <b>2015 年 8 月 11 日 (火)</b> |    |
| <a href="#">入室</a>            | 38 | <a href="#">帰国日</a>        | 47 |
| <a href="#">タクシーでセナド広場へ</a>   | 39 | <a href="#">空港の朝食</a>      | 48 |
| <a href="#">名物の牛乳プリン</a>      | 40 | <a href="#">食後のおかわり</a>    | 48 |
| <a href="#">ハローキティーを求めて迷う</a> | 40 | <a href="#">チェックイン</a>     | 49 |
| <a href="#">聖ポール天主堂</a>       | 42 | <a href="#">搭乗</a>         | 50 |
| <a href="#">タクシー拾えません地獄</a>   | 42 | <a href="#">帰国</a>         | 50 |
| <a href="#">サウナへ</a>          | 43 |                            |    |
| <a href="#">カジノへ</a>          | 44 |                            |    |
| <a href="#">コンビニへ買出し</a>      | 45 |                            |    |

## この本について

本書は2015年8月7日（金）～9（日）にかけて KITEC（Kowloonbay International Trade & Exhibition Centre ; 九龍灣國際展貿中心）で開催されたマジック・ザ・ギャザリングの香港大会（GP 香港 2015）に、プレイヤーとして参加した筆者の記録です。

なお、現地の金額表記は原則として通貨の HKD(香港ドル)で行いました。

相変わらずの円安基調のため、ガイドブックなどには 1HKD=15 円と書いてあるものの実質は 16 円超だったのでしょうか。ま、考えても仕方ありませんが。

## GP 香港 2015 について

本書を手取るような方であればおよそ説明の必要はないとは思われますが、

GP（Grand Prix;グランプリ）というのは、1年に50回くらい世界のあちこちの都市で開催されているカードゲーム「マジック・ザ・ギャザリング」の大会です。

世界中から 500-3000 人くらいのプレイヤーが集まって、日本でも1年に3回ほど開催されます（2015年から日本では年に4回開催されることになりました）。

GP 香港 2015（※1）は、香港で 2015 年に開催された大会ということになります。

TopDeck（※2）が主催しました。

※1 <http://www.gphongkong.topdeckevents.com/>

※2 <http://www.topdeckevents.com/>

## GP 香港 2015 への参加を決め、航空券を購入

基本的に筆者は、近場（※1）の海外のリミテッド（※2）GP にはお金や有休に余裕があれば参加することを基本にしているので、2014 年の 8 月に「2015 年の GP リスト」が発表された時点で、GP 香港 2015 への参加は決めていました。

このため 2014 年 12 月 22 日に、LCC の HK Express（※3）が「クリスマスセール」で割引を行っていた時点で、早々にこの GP への参加のフライトを購入してしまいました。

往復で総額 25380 円。ま、十分に格安だと言えるでしょう。

同時に booking.com（※4）で尖沙咀（チムサーツイ）の安宿を金～日まで押さえます（キャンセル無料）。

この時点ではまだ 5 月の GP ラスベガス 2015 にも行っていないのですが（笑）。

※1 飛行機でせいぜい半日くらいの旅費の高くない所。海外は中国や赤道のあたりまで。豪州や米国や欧州は圏外。

※2 筆者は「プレイヤー」としては構築はそれほど興味はありません。

※3 <http://www.hkexpress.com/ja>

※4 <https://www.booking.com/>

## GP 香港 2015 の参加申し込みをする

その後、年も明けて GP 静岡にプレイヤー参加（1 月）したり、レベル 2 ジャッジに昇格したり（2 月）してるうち、4 月 8 日、同じく GP 香港に参加を決めているたちー（橘さん）が「GP 香港の参加申し込みが始まっている」ことを教えてくれました。

サイトで確認すると、プレイヤーのランクにノーマル・プレミア・VIPの3つがあります。自分は5月末までにPWP2250点を獲得の予定でありGP香港は2BYEで迎える筈なのでスリープインは必須、そもそもケチるほどの金額差ではないな…ということで、さっそくオンラインでVIP申し込みをしました。

あとはどんな「VIP」の待遇を用意してくれるのか、楽しみにして待ちます。

|      |        |                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|------|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ノーマル | 450HKD | <ul style="list-style-type: none"><li>・ GP 香港 2015 本戦参加権</li><li>・ オリジンを6パック</li><li>・ グリセンブランドの本戦プロモ</li><li>・ GP 香港バッヂ</li></ul>                                                                                                                                                 |
| プレミア | 570HKD | <ul style="list-style-type: none"><li>・ ノーマルの獲得できるものすべて</li><li>・ スリープイン（プールの事前登録済）</li><li>・ 特製ライフメモとペン</li></ul>                                                                                                                                                                 |
| VIP  | 900HKD | <ul style="list-style-type: none"><li>・ プレミアの獲得できるものすべて</li><li>・ VIP コンシェルジュ（VIP エリアの入室権のことと推定）</li><li>・ VIP 専用プレイエリア</li><li>・ VIP 専用ペアリング</li><li>・ 赤絨毯のサイドイベント専用受付（そんなもの無かったような…）</li><li>・ VIP バッジ（通常のプレイヤーのバッジの代わりに）</li><li>・ VIP 専用プレイマット</li><li>・ 水とスナック菓子の提供</li></ul> |

## マカオ観光も入れる

申し込みの後、GP 京都にジャッジ参加したり（4月）、GP ラスベガスにプレイヤー参加したり（5月）していたのですが、そんな中、ベガス帰りの余韻も覚めやらぬ6月8日に自分は恐るべき事実に気がつきました。

基本的に有休にそれほど余裕がない自分はGPは金曜～日曜まではフル参加するものの、できれば木曜には有休を取らない方向で行き、月曜は帰国日に充てるのが常でした。ことに今年は5月に丸一週間ラスベガスに行く以上、例年になく有休残が深刻なのです（加えて4月にインフルエンザで丸3日休む羽目になったり…）。

ところが昨年12月にHK Expressで申し込んだフライトのメールをいま一度確認すると、行きの便は8月7日（金）の午前1:20に羽田を出るという良い便なわけですが、帰りの便は8月11日（火）の13:20に香港を出る便になっていました。

あれ…香港発が火曜…なんで…と思いつつしげしげと見返すに、どうやら申し込みの際に

**帰国日を1日間違えた**という結論に達しました。うぎゃあ、貴重な有休が！

もちろんLCCの常として、安い代わりにキャンセルや変更にはそれなりのお金がかかり、これではLCCにした意味がありません。

しばし悩んだ末「ま、間違えてしまったものは仕方ない」と割り切り、さらに1日有休を使用したうえで、じゃあ月曜はまる一日観光だな…としました。じゃあこの1日は香港のどこに行こうかということで急浮上したのが、かねて興味もあったマカオ。

さっそくBooking.comでフェリー港から近いホテルGolden Dragon（※1）を予約。

またAgoda（※2）でより安くよさげな重慶大廈（チョンキンマンション）のChina Emperor Hotelという香港の安宿（※3）も発見できたので、こちらに乗り換え。

さらにたちーも月曜の夜にマカオに泊まるというこちらのプランに興味を示したため、月曜の夜はラスベガス同様ホテルを相部屋にして宿泊費を浮かすことにしました。

最終的には、たちーと同行する友人のM神さんの追加ベッドのオプションを申し込んで3名で部屋を予約することになりました。

マカオと言えば、カジノと**レインボーマン**第4話の「マカオの殺人ショウ」くらい（偏見）しか予備知識のなかった自分ですが、マカオの観光ガイド本なども買いながら、回るところを色々と検討し始めて当日を迎えました。

※1 <http://www.goldendragon.com.mo/en/>

※2 <http://www.agoda.com/ja-jp/>

※3 <http://china-emperor-hotel.hongkonghotelchina.com/ja/>

## 2015 年 8 月 6 日（木） 出発の夜

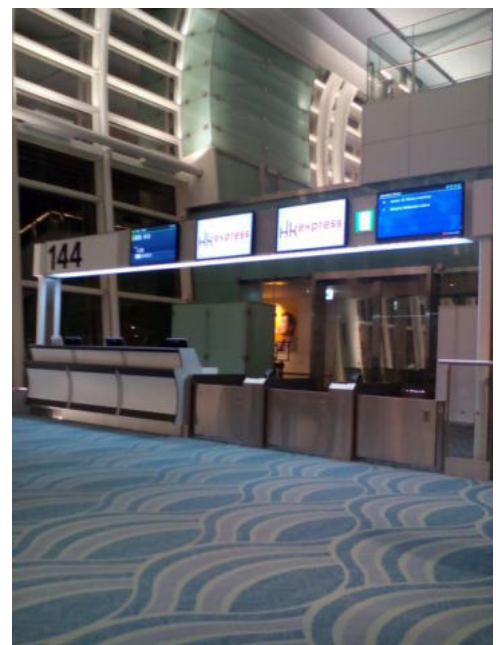
今回のフライトは金曜 1:20 羽田発だったので、木曜は普通に会社で働いて 18 時過ぎに会社を出ていったん帰宅。19 時過ぎに帰宅して夕食と風呂を済ませて、涼んでから服を着て、荷物の最終チェックを済ませてから 21 時過ぎにカラコロを引いて家を出ます。何ごともなく 22 時過ぎに羽田空港に着き、HKExpress のチェックインの列に並ぶ。しかしチェックイン開始は 22:20 だったのでそのまま待つ。さすがに早すぎたな。

無事発券終了。キャリーの手荷物扱いを希望すると、係員は重量を測って「7kg までなんですけど 11kg ありますねぇ…」とつぶやいた後「パソコンは入ってますか？」と聞かれたので「はい」と答えると「パソコンは重量の計算外なので、良しとしましょう」とクリア。おねえちゃん愛してる！

セキュリティもイミグレも何事もなく通過し、長々としたゲート移動（LCC の宿命だ）をしたのち 23 時には目的のゲート 144 に到着。あと 2 時間ある。さすがに早すぎたか。

予定では同じ便の筈の S さんと合流の予定だったのが見当たらないな。差し上げるつもりの安い SIM フリースマホも持参したのだが。いないものは仕方ないが（会場でも見なかったのでは来なかったと思われる）。

ゲート前のコンセントで眠気をこらえて充電をしつつ（実はうまくいっていなかった）、日付が変わる頃にゲートのエアアジアの関係者がみんな帰って、HKExpress 関係者と交代する。



0:50。特に明確なアナウンスはないが皆がゲートの前に列を作り出す。このへんが LCC クオリティ。自分も並び、1 時過ぎに搭乗。通信回線を切り、離陸するなり、ほどなく眠る。



## 2015 年 8 月 7 日（金） 香港空港の朝食

4 時間のフライトを無事に終え、香港に到着する頃に目が醒めると 5 時半。  
時計を香港時間にセットして 4 時半（ここからは香港時間で記載します）。  
着陸後、10 分後にバスに乗って空港に入り、ほどなくイミグレを通過。

午前 5 時には空港ターミナルの到着歓迎ゾーンに入る。  
では早い朝食にするか…と思ったものの、この時間に  
空いている店舗がマクドナルドとセブンイレブンしか  
ないことに気がつく。香港は 24 時間国際空港だから  
そこかしこの店が開いていると思ったのだが…まあ、  
羽田や成田も似たようなものか。

ATM で当座の香港ドル現金を確保したのち、空腹を  
満たすため、マクドの長蛇の列に並び、食べる前から  
味の分かっているソーセージエッグマフィンセットを  
頼む。いつものようにおいしいけど、やや敗北感。



腹を満たしてから到着ゾーンを一回りするが、どうも海外旅行者向け SIM カード販売店  
というものが見当たらない。Wifi モデムレンタル業者のカウンターはたくさん並んでいる  
のだが、これはかなり意外。

このため空港に着くなり SIM カードを買って通信を確保するという試みはまず失敗。

しかし店舗リストを見ると SIM なんちゃらというカウンターが 1 つあったので、そこ  
行って調べると、どうやら 8 時過ぎに開くらしい。まあ香港観光局のキャンペーンくじを  
引くためどのみち 9 時までここに居るつもりだったので無問題だが、いずれにせよ 2 時間  
くらいこのままここで時間を潰す必要があるな。座ってうつらうつらする。



## 当座の通信を確保

8時にSIMショップのカウンターに眼鏡のあんちゃんが来たので、スマホでデータ通信を行うためのSIMカードについて聞くと、果たしてここで扱っており、設定もしてくれたうえ無料とのこと。えっ、いいのか。ともあれ通信を確保して、ツイッターなどを開始。

ほどなく判明したが、無料で使えたのは50MBまでで、そんなものは半日で使い切ってしまった。多分コンビニ等で追加データを購入するビジネスモデルだったのだと思う。

ちなみに空港にSIM販売ショップの類が見当たらなかったのは、どうやら香港はコンビニでSIMカードをユーザーが買って自分で全部設定するという方式が主流のためであるらしい。進んでるな香港。

さらに9時前に香港観光局キャンペーン会場の設営が始まったので、女性係員に確認のうえで9時を待ち、9時になるなり待機列の先頭でパスポートを提示してウェルカムパックを貰い、くじを1回引く。

あひるのおもちゃをゲット（たぶん最低ランク賞で、後で見たらみんなこればかり貰っていた。本書表紙）。パスポート番号をメモした感じはないので、おそらく何度でも抽選を受けることは可能（いないけど）。



## タクシーで KITEC へ

タクシー乗り場へ移動。配車係に KITEC と書いて通じなかったので、さっそく確保した通信でぐぐって中国語のサイトの「九龍灣國際展貿中心」を見せて通じる。ネット万歳。

タクシーの中で、すでにジャッジとして会場入りしている GEN さんのツイッターを読む。今回の GP 香港では、金曜からの "Scheduled Event" の参加賞として《徴税の大天使》のプレイマットがゲットできるという情報を得ていたのだが、GEN さん情報によると

LCT(Last Chance Trial) シールドでもこのプレイマットがゲットできる模様。  
ほほう LCT はフライトじゃなくてこっち扱いだったか。ならスイスシールドじゃなくて  
GPT シールドにエントリーしよう。何度も出られるし参加費安いしね。

30 分ほどタクシーに乗り、266HKD という「ううむ」な  
料金を払い 10 時前に KITEC に到着。まあ空港から市内に  
入るだけでも高速鉄道で 100HKD はかかるので、1 人の  
タクシーなら仕方ないのだが。基本は相乗り。

「2 年ぶりだね」

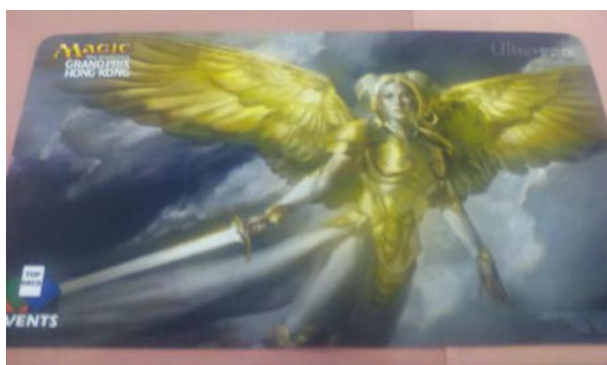
「…来たよ」

と脳内でいつものキリシマとハルナが会話する。

今回は、前回と違って GP 会場は 1F でなく 3F だった。



## Last Chance Trial ポッド 6



会場に入って、さっそく目の前にあるサイド  
イベント受け付けの長い列に並ぶ。なかなか  
動かない列に 30 分くらい待たされるも、  
250HKD を払い LCT ポッド 6 にエントリー  
して天使プレイマットを貰う。よし、今回の  
最低限のノルマを果たした。

そして構築開始。リミテッドでも使い物にならないし高くもない  
悲しみに包まれたレアプールに、堂々のレアなし黒赤でデッキを  
組む。色が合えば 2 色土地レアは入ったが、それすらも入らず。  
構築を終えると 12 時を回ったが、さて何戦できるかな。

《一日のやり直し》  
《ミジウムの干渉者》  
《穢れた療法》  
《護法の宝珠》  
《戦場の鍛冶場》  
《シヴの浅瀬》

獲得レア

|                      |                 |                   |
|----------------------|-----------------|-------------------|
| <b>Creatures: 15</b> | <b>Spell: 8</b> | <b>Lands: 17</b>  |
| 《ゴブリンの栄光追い》          | 《タイタンの力》        | 《進化する未開地》         |
| 《結束した構築物》*2          | 《魂裂き》*2         | 《沼》*8             |
| 《異臭のインプ》             | 《焦熱の結末》         | 《山》*8             |
| 《地底の斥候》              | 《骨読み》           |                   |
| 《眼腐りの暗殺者》*2          | 《死の国の重み》        |                   |
| 《肉袋の匪賊》              | 《屍術式召喚》         |                   |
| 《ナントウコノ蛆虫》           | 《チャンドラの憤怒》      | <b>Sideboard:</b> |
| 《飛行機械技師》             |                 | 《粉々》              |
| 《炎魔の精霊》              |                 |                   |
| 《空荒らしの巨人》            |                 |                   |
| 《護衛する自動機械》           |                 |                   |
| 《トゲイノシシ》*2           |                 |                   |

#### 構築デッキ

### Round1 NO SHOW

…ま、勝ち。勝ちだ。

この時間を利用して手早く昼食にしよう。

それほどゆっくりはできないので、施設内を歩いて、  
同じ 3F のカフェで軽食を頼む。

うむ。コーヒーが一番小さい奴も飲みきれないが、  
クロワッサンが予想以上にうまく満足。

13 時に会場に戻り、2 回戦の開始。



### Round2 Kさん 白緑 ○×○

G1 順調に展開して勝ち。

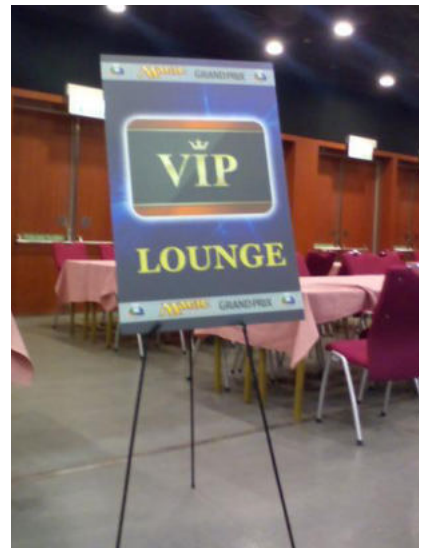
G2 山山キープしたら、山を 1 枚だけ引いて沼を引かず終了。

G3 まあ勝ち。ふむ。

3 回戦までの待ち時間の間に会場前方に VIP ラウンジの存在を確認。ここか。まあ、明日から利用しよう。

## VIP エントリーを済ませる

さらに待ち時間に VIP エントリーを済ませ、VIP バッジと VIP 用のプレイマットその他をゲット。



**Round3 Jさん 白緑 ××**

いろいろなされて完敗。

## Last Chance Trial ポッド 14

LCT ポッド 6 を負けて終わると 15 時。まだ遊べるなということで、さっそく次の LCT ポッド 14 にエントリーして、さらに天使プレイマットを 1 枚獲得。

2 没までくらいなら 18 時からのフォイル争奪ドラフトに間に合うな…と思って参加したわけですが、16 時過ぎにやっと立ったポッド 14 では、配られたパックをチェックしたらプレイマットと合わせれば 250HKD のお値打ちはある「元取れレア」だったのでこの際ドロップして終了。

すでに 2BYE は持ってるから BYE 狙いでもないしね。

《魂刃のジン》  
《無限の抹消》  
《衰滅》  
《穢れた療法》  
《カラディシュの火、チャンドラ》  
《ゴブリンの群集追い》

**獲得レア**

## 通信回線再チャレンジと夕食

あとはこのまま2時間近く待ってから、18時に受付終了のフォイル争奪ドラフトに参加だな…と思うも、何も考えずにツイッターの読み書きなどをしていたら、この頃には朝に確保したネットが使えなくなっていたことに気がつく。無料の50MBを使い切った模様。追加の仕方がよく分からなかったので、諦めて施設2Fのセブンイレブンに移動したうえスマホ用のデータSIMはないかと聞くとただちにレジから出てきた。中国移动通信（China Mobile）社のSIMで48HKD。

さっそく店員の前でインストールしアンテナが立つことを確認するも、アクティベートをしても通信ができない。あれ？ 結局これは丸損であった。飯代1回損した。

後から考えると、これは値段的にもデータ料金は含んでいないので、使用するぶんのデータをプランを決めて別途購入してPINコードで逐次、後から入力するタイプであったように思える。教えて欲しかったなあ店員。

ちなみに今朝空港で貰った香港観光局のウェルカムキットにも「無料Wifi」のSIMが入っていることが後で判明し、実のところこれも中国移动通信の物だったのだが、これに至っては空港施設内でしかアクティベートができなかったらしいと牧野さんから聞く。うむ情弱にもほどがある。

まだ18時までは少々時間があるので、施設内の中華レストランに入ってから牛肉飯をオーダー。

35HKDくらいだったかな。

しかし正直、写真のように雑然と飯が盛ってあるだけで食欲をそそらないし、値段は高くはないものの味もいまいち。20年ぶりに大学の学食を思い出した。



## foil 争奪ドラフト

18 時からの foil ドラフトにエントリーし、プレイマットをもう 1 枚。

1-1 《辺境地の巨人》。安レアだが、リミテなら文句なし。今日は緑スタートで。

2-1 《キテオンの不正規軍》。リミテのボム。文句なし。今日は白緑で。

3 パック目は足りないパーツ集めとカット。悪くないドラフトだったと思う。

|                      |                 |                   |
|----------------------|-----------------|-------------------|
| <b>Creatures:</b> 15 | <b>Spell:</b> 8 | <b>Lands:</b> 17  |
| 《アクロスの看守》*2          | 《包み込む霧》*2       | 《平地》*9            |
| 《エルフの幻想家》            | 《迅速な報い》         | 《森》*8             |
| 《葉光らせ》               | 《強化化》           |                   |
| 《巡礼者の道の騎士》           | 《キテオンの戦術》       |                   |
| 《確固たるエイヴン》*2         | 《天使の墳墓》         |                   |
| 《キテオンの不正規軍》          | 《抑制する縛め》        |                   |
| 《ソーンバーワルドの頭目》        | 《野生の本能》         | <b>Sideboard:</b> |
| 《護衛する自動機械》*2         |                 | 《空への斉射》           |
| 《議事会の自然主義者》          |                 |                   |
| 《辺境地の巨人》             |                 |                   |
| 《巨森を喰らうもの》*2         |                 |                   |

構築デッキ

**Round1 Wong さん 白黒緑 ○○**

ブンして勝ち。

**Round2 Ooi さん 青緑 ××**

いい感じでいなされて負け。ちなみにオオイさんというスリップを見て日本人かな？と思ったら中国の方でした。そういう名前もあるのね。

**Round3 キムラさん 黒赤 ×○×**

下家の方で、ドラフトの棲み分けはうまくできた感じ。

もう遅いのでちゃっちゃと打って帰りましょうということで、サクサク殴り合って負け。

キムラさんと一緒にスリップを持参して賞品 foil を取りに行く。



賞品フォイルは過去のフォイル箱からランダムに引いていく感じであり、1-2の自分は《遙か見》と《イゼットの魔除け》の2枚のプロモを獲得。

先月のFNMプロモ（流刑への道）とか今月のFNMプロモ（血清の幻視）とかいった高額プロモは、最初から無かったんや…。

## China Emperor Hotel にチェックイン

22時に会場を離脱してタクシーで尖沙咀へ向かう。「チョンキンマンション」で無事に通じて、通りを挟んで重慶大廈の前でおろされる。2年ぶりに重慶大廈に入り、予約していたChina Emperor Hotelへ。予約メールの住所によると、このホテルは重慶大廈D座（Dブロック）の9階だったので、さっそくDのエレベータに乗って9階へ。

受付らしいドアをノックすると、おっちゃんが出てきて「そのホテルはこっちだ」と案内される。ついていくと別のドアをいくつも開けて細い廊下をくねくねと移動したうえで、

Eブロックの別のホテルに案内される。**むちゃくちゃ怪しい**な（笑）。

ともあれ次からは最初からEブロックのエレベーターを使うようにしよう。

おうちのかたへ：

重慶大廈は何十ものホテルが入っている雑居ビルで、内部はA-Fのブロックに分かれており、基本各ブロックごとの別々の2本ずつ（偶数奇数階別）のエレベーターでアクセスする。それぞれのブロックの間を行き来する普通の廊下は存在せず、各ブロックは基本的に完全に独立している。

…ていうか、ブロックの間をこうやって抜け道で行き来できるなんて、今回、初めて知ったよ（笑）。

ともあれChina Emperor Hotelにチェックインする。

パスポートの名前を確認して、クレジットカードの提示も求められずそれだけだったので「デポジットはいらんのか？」と聞くと「代金などはAgodaから貰うから無問題」とのこと。ほほう、Agodaは今回初めて利用してみたがそれは楽でいい。今後も利用するか。自分の部屋は入り口を入れてすぐ。カードと2つの鍵を手渡される。カードはこのエリア自体に入るためのもので、大きい鍵は自分の部屋のドア、小さい鍵は机の引き出し。

なるほど貴重品はこの机の引き出しに入れておけばいい…のかな？



## 今度こそスマホの通信を確保

ホテル自室の Wifi は電波は弱いがまあまあ使える。しかし外で自由に使える通信が確保できていないのは大変よろしくないなので、荷物を置くなり部屋を出て 1 階に降りる。

エレベータを出てすぐの所に SIM カードを売っている店があったので、マレーシア人の店員にスマホを見せて相談。てきぱきと何日間か、データ制限は、国外で使うか、などの質問に答えたのち、じゃあ 78HKD で半月国内使い放題にしてやろうと言われ即応。

スマホを渡し、店員が設定するのを今度こそしげしげと観察。次こそは自力で全部設定ができるようにならなければならない。三度目の正直。

設定の様子を観察すると、まず SIM を入れ、アクティベートをした後、別のスクラッチカードのシュリンクを破ってコインで削り、そこに記載されていた PIN コードを 3 つほどテンキーで入力。これが**勝利の鍵**は。さまざまなオプションをこれで設定するわけか。

## シャワーを浴びて寝る

通信を確保したので重慶大廈を出て彌敦道（ネイザンロード）をひと歩きするも、もう予定もなく出歩く時間でもないか、という結論になったので日付が変わる頃に飲み物だけ買って部屋に戻る。

部屋のトイレと一体型のシャワーを確認。

すごい！シャワーから**熱いお湯**が出るし、部屋には新しい石鹸とバスタオルがある。ここは当たりの宿のように思える。

シャワーを浴びて日付が変わる頃に就寝。



## 2015年8月8日（土） GP 本戦の朝

すでに明るくなってもいたため、5時過ぎに目が覚めてしまう。

まだ全然寝ていても良い時間だが、まあ起きてしまおう。腹も減っているしね。

改めて朝の光でホテルの部屋をしげしげと見渡す。

TVはあるがリモコンがないので、どうやらベッドの上に立ってTVに手を伸ばしてから直接ボリュームやチャンネルは操作しろということらしい。

ま、どうせTVは適当にニュースを流している位なので割とどうでもいい。

PCを起動して昨日の日記をDiaryNoteに書き始める。マジック日記だけは記憶が鮮明なうちに書いておきたいからね。

のんびり日記を書くと7時を回ったので、GP会場にそのまま出かける仕度をしたうえで部屋を出て朝食にすることにする。

### ドアのチェーンロックを壊す

うっかりチェーンロックを外し忘れたままで部屋を出ようとしてノブを引くと、軽く引いただけなのに

**「ぱりっ」**と音がしてチェーンロックを壁に固定

していた細いベニア板の**接着がはがれたよ**。

あわわわわわ。よもやドアの修理代を請求されまいとは思うが。

…ていうか、これじゃ侵入者を防ぐというロックの役目を全く果たしていないじゃないか（笑）。

知らん顔してベニア板を壁に立てかけて部屋を出る。



## 朝食ののち、タクシーで会場へ



朝食はどこにするか…としばし朝の尖沙咀を歩くうち、2年前にいたく気に入ったマカオレストランのファストフード店があったので入って朝食セットメニューから選ぶ。

やっぱりこれでトータル32HKDは、非常にコスパが高いとしか言いようがない。

何よりも普通にうまい。

完食して朝の薬を飲む。麺は少し香草臭かったが、卵焼きとベーコンはやはり絶品。

とはいえここばかりでなく、明日は粥系の朝食にチャレンジしてみようかな。

朝食を済ませると8時を回ったのでタクシーを拾う。運転手の爺さんに対してKITECをスマホで見せる。通じたかどうかいささか不安だったが、爺さんはたちまち車を飛ばして、荒い運転でわずか10分で会場に到着する。すげえ。

料金は67HKD。1人で出せないこともない額だけど、やっぱり折半したかったなあ。

## GP 本戦開始

8時半に会場に入る。VIPバッチを装着してVIPエリアに座って待つ。ネットを見たり、たっちーと雑談しつつGP本戦の開始を待つ。

本戦参加者は851人で、日本人はそのうち92人。1割オーバー。

まあGP香港は2013年も参加者数が3桁ではあったのですが。

そうこうするうち9時を回り、いよいよGP香港の本戦開始。

### Round1 Bye

去年のPWPを2250点以上獲得したので、Round1は不戦勝。

本戦開始後の30分ほどして、たちーら「スリープイン 0BYE」組が案内されて移動し、構築を開始した。

2BYEの自分のスリープイン構築開始はまだ2時間後まで伸ばせるのだけど、ヒマなのでその1時間後に「1BYE スリープイン」組と同時にキットを受けとって構築を開始する。

まずはレアを確認。

やっす…というのはともかく、リミテッドで強いレアが《キテオンの不正規軍》くらいしかない。

コモンやアンコモン的にも酷いもので、さすがにこれは2日目が見えなくて辛いけど、白サブ赤で構築する。

《白蘭の騎士》  
《キテオンの不正規軍》  
《ヴリンの翼馬》  
《潮流の先駆け》  
《ゴブリンの群集追い》  
《護法の宝珠》

#### 獲得レア

|                      |                 |                   |
|----------------------|-----------------|-------------------|
| <b>Creatures:</b> 16 | <b>Spell:</b> 8 | <b>Lands:</b> 17  |
| 《ゴブリンの栄光追い》          | 《包み込む霧》         | 《領事の鑄造所》          |
| 《結束した構築物》*2          | 《天界のほとぼしり》      | 《平地》*8            |
| 《白蘭の騎士》              | 《力強い跳躍》         | 《山》*7             |
| 《ドラゴンの餌》             | 《迅速な報い》         |                   |
| 《ゴブリンの群集追い》          | 《伝染性渴血症》*2      |                   |
| 《地底の斥候》              | 《粉々》            |                   |
| 《確固たるエイヴン》           | 《稲妻の投槍》         | <b>Sideboard:</b> |
| 《ヴリンの翼馬》             |                 | 《悟った苦行者》          |
| 《ボガートの粗暴者》           |                 | 《暴れ玉石》            |
| 《ギラプールの歯車造り》         |                 | 《火山の彷徨》           |
| 《飛行機械技師》             |                 |                   |
| 《キテオンの不正規軍》          |                 |                   |
| 《護衛する自動機械》           |                 |                   |
| 《トゲイノシシ》             |                 |                   |
| 《地震の精霊》              |                 |                   |

#### 構築デッキ

11時過ぎに構築終了。初日通過は難しそうだな…と思いつつ2回戦の終了を待つ。

## Round2 Bye

去年のPWPを2250点以上獲得したので、Round2も不戦勝。

### Round3 Quintoさん 白赤→赤緑 ×○○

G1 土地が4枚で止まったうえ、白白が出なくて死亡。

G2 まあ勝った。

G3 相手がデッキを赤緑に替えてきたが、勝った。

これで3-0。ま、BYE込みとはいえ幸先はいい。

## VIP ラウンジでくつろぐ

もう14時近く、小腹がすいたのでラウンジ机の上のVIP特典の水とスナックをいただく。

割と充実の内容。

さらにVIP専用の固定席とペアリング。

実のところ、VIPラウンジからは割と遠かったのでVIP固定席のメリットは薄目だったのだが、VIP専用ペアリングはやはりありがたかった。



さらにコンビニで安かったので買って来て、気に入ったので愛飲していたレモンライムと蜂蜜味のドリンクを飲んだりしているうちに、携帯に充電をしていた予備バッテリー自体の電源が切れた。どうも昨夜ホテルのコンセントにつないでの充電を失敗していた模様。コンセントの故障かな。携帯本体の電池もそれほど残ってないので、再充電のあてができるまでは通信を切るしかなさそう。やれやれだぜ。



## Round クロックのひみつ

### Round4 Weiさん 白黒 ××

強かった。やりたいことが何もできないまま負け。

とりあえず《永遠警備の歩哨》は本当に使われると駄目なカードだ。

速攻で負けたので手早く1階に下りマクドで昼食を買い、ラウンジで食べて5回戦を待つ。

ところで大会本戦のラウンドクロックはどこにあるのだろう…と思って聞いたら、会場から見上げての2階のあんな所にあった。聞くところによるとこのリモコンなどはないので、毎回ラウンドの頭にはジャッジ1人があそこにかけたうえで、ヘッドジャッジアナウンスと同時に手でスイッチを入れているらしい（笑）。



### Round5 ナガオさん 白赤 ○××

G1 回って勝ち。

G2 回られて負け。ヘリオン強い。

G3 相手の土地が詰まり気味で展開を続けこのまま勝てるかな、と思ったらチャンドラ降臨。このチャンドラを即座に除去できなかった時点でまあ駄目なのではあるが、続くターンで「チャンドラで本体1点→ヘリオン降臨→チャンドラがアンタップし本体に2点→チャンドラ変身→チャンドラの+1能力で3点」といった詐欺のような動きをされたうえで、たちまち敗北。レア2枚シナジーとはいえ、これは酷い。

これでたちまち3-2。もう後がないが、まあ駄目だろう。

## GP 本戦離脱

### Round6 Yuさん 黒緑 ×○×

- G1 《衰滅》で流されたうえで、ニッサが降臨して変身して負け。
- G2 《衰滅》で流されたが、クリーチャーをキープしていたこともあり勝てた。
- G3 こちらの展開が弱く、早々に出たニッサでもアドを取られて負け。

これで3-3になり、早くも2日目進出の目は消えた。さっそく明日のスーパーサンデーシールドにエントリーする。すでに17時だが、PWP8倍を目当てに続けることにする。

### Round7 Liさん 青黒 ××

もうだめぽ。

これで3-4。本日の目標を「勝ち越し」に再設定したうえで、次も負けたらドロップして夜の観光を1時間前倒しすることにしようとするが、待ち時間に知人筋と立ち話をしたところ「火鍋」という単語が出たので自分も即座に賛成して相乗りする。結果、8回戦の終了時に勝っても負けてもドロップして総勢8人ほどで金馬倫道（キンバリーロード）の火鍋店「順徳霸王魚頭鍋専門店（シュンデ・レストラン）」に行く話がまとまる。

自分は辛いものが好きで火鍋も是非食べたいとつねづね思っているわけですが、ひとりでふらふら歩き飯にするのが好きなので、こういう時でもない火鍋は行けないんだよね。

<http://www.hongkongnavi.com/food/692/>

### Round8 マツショーさん 赤緑 ○○

と思ったら8回戦の対戦相手は、その火鍋と一緒に食べに行く1人であるマツショーさんだった（笑）。さくさく打って、トップ勝負で勝ち。

2人してスリップに「ドロップ」チェックを入れて提出してGP本戦は終了。



## 火鍋タイム

全員の本戦終了を待ったのち、8人でタクシー2台に分譲して火鍋店へ。

自分は前のタクシーで行ったうえで、皆と金馬倫道沿いに歩いて、やがて店を発見。

店に入って「あとから4人来る」ということを伝えたうえで、机を用意して貰って待つ。

なかなか後続のタクシーが来ないので、自分は後続組のたっちーにメッセを送ったうえで店の前で待つが、結局トータル30分くらい待たされる。なんか茶鴨さんのアメックスが使えなかったとか色々トラブルがあったらしい。

ともあれ20時50分、食べ放題2時間コースを頼んで、オーダー開始。

火鍋に思い思いに注文した肉や野菜やトマトを放り込んでつまむ至福の2時間を堪能する。うまうま。最後は香港でも大人気の「出前一丁」でしめ。



楽しい火鍋を終えると23時を回っていたので、このまま解散。

皆は地下鉄やタクシーでおのこのホテルに戻るようだが、実のところ、ここは金馬倫道であり、自分の泊まる重慶大廈はすぐ近くである。少し歩いてホテルに戻る。

今朝のチェーンロックは黙って撤去されていただけで修理などされていない（笑）。

荷物を置いてぶらぶら近所の買い物歩きをしたのち、日付が変わる頃に重慶大廈の1階の店で牛乳1リットルパックを買って、部屋で飲み飲みして寝る。

## 2015年8月9日（日） スーパーサンデーシールドの朝

6時半過ぎに起床。昨夜の火鍋まつりの影響もないようで腹も正常。よし。

シャワーを浴びてさっぱりする。

昨夜土産物屋で買った身だしなみキットで爪を切り、昨夜買った牛乳1リットルパックの残りを全部飲み干してしまってたゴミ箱に捨ててから、9時のスーパーサンデーシールドに向けて支度をして7時過ぎにホテルを出る。

エレベーターで1階に下りて外を出ようとする、何やら通路がざわざわとしていて床が濡れている。どうやら今朝、自分がホテルで寝ている間に**1階で火事**があったらしい。どこかの1階の飲食店でボヤを出したのだと思うが少し肝を冷やす。さすがに重慶大廈の9階で寝ている際に、ビル全部が下から燃えるような大火事になったら脱出できる見込みなど全くなく、命はあるまい。



もっとも、あるいは実は存在したブロック間の隠し通路のように、隠し階段が重慶大廈のそこかしこにあるのかもしれないが。

ともあれ、いつもの出口への通路が封鎖されていたので開いていた別の出口からビル横の工口本横丁（露店で無修正工口本を常に売っているので命名）を歩いて表通りに入る。

## 会場で朝食

タクシーを拾って会場へ。8時半に会場到着。タクシー代は62HKD。ま、こんなもんだらう。

マクドで朝食（安定のソーセージエッグマフィンセット）を買ってから、VIP ラウンジでマクドめしにする。  
あとはスーパーサンデーシールドを待つのみ。

同時に、まだ VIP エリアに 1 本残っていたペットボトル水を取る。ぬるいが上等。もっとも香港は米国ほどは「飲み物が高い」という印象はないので、さほど飲み物を貪欲に求める必要はないのだが。

水もジュースも 500ml ペットボトルが 300 円とか、冗談じゃなかったよラスベガス。

今日の予定は、何よりスーパーサンデーシールドをどこまで頑張れるか次第ではあるけど、終わったら旺角のアニメイトと信和中心に行ってから、夜の男人街の屋台歩きかな。

さらに副ミッションに小銭使いを位置づける。  
面倒だからと毎回札を出して小銭ばかり受け取っていたら、いつの間には財布の中には30HKD くらいたまっていた。

香港硬貨の周囲ギザは 2 ドル貨か 20 セント貨なのか。50 セント貨やクォーターの混在さえなければ、だいたい価値とサイズが一致していて、そこそこロジカルな構成の感じ。



## スーパーサンデーシールド開始

10 時になって、どうやらスーパーサンデーシールドが始まる。参加者 158 名の 9 回戦。

上位 4 名は論外としても、賞品圏は 32 位までなので 6-3 の前半までかな…。

かわいそうなチェックパックを流して自分のパックレア。

同じくらいかわいそうでレアが光っていてもやっすうー。

そして相変わらず《キテオンの不正規兵》が来るなー。

まあ、これはリミテのボムレアだからいいんだけど。

青のコントロール奪取もリミテでのボムなんだけど、

プールをしげしげと見ても除去以外でのクリーチャーを

対象に取れる呪文類が何もない。使えん。

《キテオンの不正規軍》

《意志を砕く者》

《光り葉の選別者》

《無限の抹消》

《極上の炎技》

《炎影の妖術》

《神々の兜》

獲得レア

そしてコモンとアンコモンを検討するも、白がお通夜なので不正規軍を諦めて白を抜き、

赤も駄目なので結果、青黒に。入ったレアは制限つき除去エルフのみ。だめだこりゃ。

**Creatures:** 14

《フェアリーの悪党》\*2

《節くれ根の罌師》

《マラキールの選刃》

《ジェスの盗人》

《屑肌のドレイク》

《死橋のシャーマン》

《眼腐りの暗殺者》

《肉袋の匪賊》

《つむじ風のならず者》

《荒廃唱え》

《護衛する自動機械》

《光り葉の選別者》

《黄泉からの帰還者》

**Spell:** 10

《分散》\*2

《魂裂き》

《閉所恐怖症》\*2

《スフィンクスの後見》

《死の国の重み》\*2

《残酷な蘇生》

《屍術的召喚》

**Lands:** 17

《進化する未開地》

《島》\*8

《沼》\*7

**Sideboard:**

《否認》

構築デッキ

**Round1 Haoさん 黒緑** ○×○

G1 相手の色事故で勝ち。

G2 回られて負け。

G3 回って勝ち。

## Round2 Ramaさん 白赤 ○○

G1 ブン勝ち。

G2 相手の土地が2枚で止まって勝ち。

まだ腹は減らないが、時間があったので会場をぶらぶらしてアーティストブースを覗く。  
Robさん閑古鳥。古い土地カードくらい持参するんだったかなあ。アイテム1個くらい買ってもいいから。

しかしもうプレイマットを300HKDで買うのもいい加減に、もてあまし気味ではあり。

## Round3 ヒサノさん 赤緑 ×○○

勝ち勝ちなのでデッキチェックが入った。問題なくクリア。

G1 《チャンドラの灯の目覚め》で全部流されて、さすがに負け。

G2 回って勝ち。

G3 押せ押せで展開したところを《チャンドラの灯の目覚め》で全部流されやはり絶望しかかるも、何とかしのいだうえ《黄泉からの帰還者》が8/8飛行になって勝ち。

## Round4 Wangさん 赤緑 ×○×

G1 後手で島1のみ。しかし飛行1/1は出せて2マナ域がたくさん…だったのでキープ。  
しかしあと2回までのドローで土地を引けば無問題だったのが、2回どころか7回もドローしても2枚目の土地を引かず負け。

G2 回って勝ち。

G3 初手を島島でキープしたら、その後も島島としか引いて来ずに手札の黒いカードが数枚腐って負け。

むう。土がついた。

## 賞品圏が見えてきた

### Round5 Cersuさん 白黒 ×○×

G1 土地が4枚で止まって苦戦しつつ、相手の《魂の貯蔵者、コソフェッド》で負け。

G2 回って勝ち。

G3 防戦一方でしのぐも、最後に《キテオンの不正規軍》が出て乙。

これで3-2か。賞品は6-3の上のほうだろうから次負けたらドロップして観光にしよう。  
さすがにそこから残り全勝は期待できまい。

### Round6 Chenさん 白赤 ○○

相手が何も良いカードを引かなかったようで、ストレート勝ち。

16時。さすがに小腹がすいたので1Fのマクドでダブルチーズバーガーを単品で買って、コンビニで買った豆乳ドリンクと一緒につまむ。

この「陽光」豆乳ドリンクは割と自分のお気に入りのブランドで、香港や台湾のコンビニで見つけたらしばしば買って飲んでいる。2本で13.8HKD。



### Round7 Andrewさん 黒緑 ○○

今度も回ってストレートで勝てた。

これで5-2。どうやら賞品圏が見えてきたかな…。ま、ここまで来たら最終戦まで遊ぼう。  
20時頃には終わるだろうし、アニメイトは21時半までやってたよね…。



## そして賞品をゲットしたが…

### Round8 Zhanさん 赤緑黒 ××

《チャンドラの灯の目覚め》で流されたり、何もいいところを引かずに15分もかからずストレート負け。まあ、仕方ない。

8回戦終了時の順位は26位。よし、次の最終戦で勝てれば賞品だ。頑張ろう。  
またこの頃には、GP本戦のトップ8には日本人ゼロという残念な情報が入る。

### Round9 Jaroさん 赤緑 ×○○

G1 こちらの土地が2枚で止まって負け。

G2 相手に《ロウクスのやっかいもの》が2体居ることが判明するも、いなして勝ち。

G3 相手が先手1マリガンのうえ、いいところを引かずに圧勝。

よし。これで32位以内は確定で9チケットゲット。これで自分のGP香港も終了だ。

これで初日とあわせて18チケットか。何もらおうかなー、わくわく。

改めてプライズウォールを覗くと、貰える賞品は7チケなら天使プレイマット、4チケでモダマス2015を1パックか。あとは割とどうでもいいや。1チケ300円相当かな。

初日のLCTの9チケと合わせると18チケか。

これは天使プレイマット2枚とモダマス1パックを貰って終了かな。ふふ。

さらに30分くらい待って、最終順位を確認。

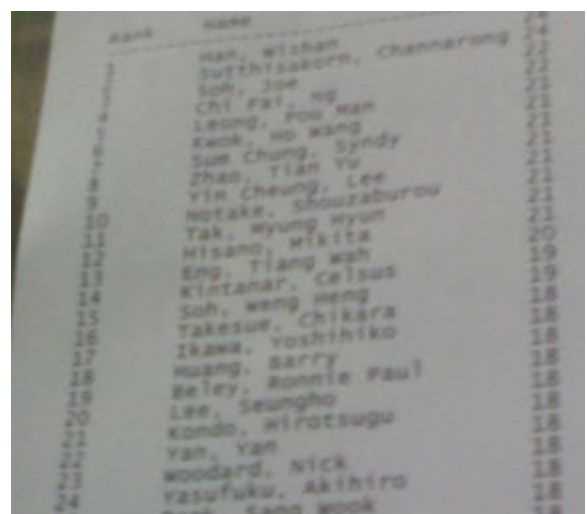
21位。いそいそとチケットを貰いにいく。

その足で18チケを握り締めプライズウォール

に行くと、天使プレイマットもモダマス2015

パックも**なくなった**とのこと。えっ。呆然。

まあ1000枚しか作らなかったと思われる天使



| Rank | Name                     | Amount |
|------|--------------------------|--------|
| 24   | Nan, Wisan               | 24     |
| 23   | Sutthasakorn, Channarong | 23     |
| 22   | Soh, Joe                 | 22     |
| 21   | Chi Fai, Ng              | 21     |
| 20   | Leong, Poo Han           | 20     |
| 19   | Kwok, Ho Wang            | 19     |
| 18   | Sun Chung, Syndy         | 18     |
| 17   | Zhao, Tian Yu            | 17     |
| 16   | Yin Cheung, Lee          | 16     |
| 15   | Notake, Shouzaburo       | 15     |
| 14   | Tak, Hyung Hyun          | 14     |
| 13   | Hisano, Mikita           | 13     |
| 12   | Eng, Tiang Wah           | 12     |
| 11   | Kintanar, Celsus         | 11     |
| 10   | Soh, Weng Heng           | 10     |
| 9    | Takesue, Chikara         | 9      |
| 8    | Ikawa, Yoshihiko         | 8      |
| 7    | Huang, Barry             | 7      |
| 6    | Baley, Ronnie Paul       | 6      |
| 5    | Lee, SeungHo             | 5      |
| 4    | Kondo, Kirottsugu        | 4      |
| 3    | Van, Van                 | 3      |
| 2    | Woodard, Nick            | 2      |
| 1    | Yasufuku, Akihiro        | 1      |
| 0    | Park, Sang Wook          | 0      |



プレイマットは切らしたら仕方ないにしても、今でもどのバイヤーブースにも並んでいるモダマス 2015 のパックなんてのは、できれば切らしたら希望者に行き渡るだけ補充して欲しいのだけどなぁ…それじゃあただの**在庫処理**じゃないか。

とはいえせめて、さっき見たときに目の前に並んでいた天使プレイマット 1 枚は、すでに獲得済の 9 チケで獲得しておくんだったなー。ぬかった。

とはいえ仕方ないので残っている賞品を眺めつつ、新しいパックを貰っても仕方ないなと思いつつ 18 チケを英語版の「神河救済」6 パックに変換して終了。1 パック 900 円くらいの価格換算だけど、何か高いレアってあったかなあ神河救済。

## 旺角のアニメイトへ

かなり残念な結果に呆然として、会場に残る知己ジャッジたちに別れと再開の挨拶をするのも忘れて、ふらふらと会場を出てタクシーに乗る。まずは旺角（モンコック）の「アニメイト」から。スマホで地図を見せ「このへんで下ろしてくれ」と言ったら通じたようで、15 分くらいタクシーに乗って 19 時半過ぎにアニメイトに到着。



妻からの依頼は「刀剣乱舞の現地モノがあったら買って来て」だったのだが、見たらグッズ類は全部日本からの輸入品。これは意味がない。BL コーナー女性向け同人誌も軽く覗いたが目ぼしいものなし。また「アルペジオ」関連の香港版があったら買おうかなとも思って探したのだが、これも見当たらず。同じ作者のガンダム漫画はあるんだけどなぁ。ヤングキングのコミックスが出ていないわけでもなくて、実際「ドリフターズ」1 巻の香港版は普通に並んでいたりもする。このへんはよくわかりません。

しかしせっかくタクシーまで使ってアニメイトまで来て手ぶらで帰るのも悔しいので、「監獄学園」最新刊の香港版を購入。

あ、ドリフターズの1巻も買うんだった。ヒラコー手書きの後書きページとか、どうなっていたんだろう（笑）。

## 信和中心へ

アニメイトを出ると20時。まだ信和中心（シノセンター）は開いてるよなと思いつつ、彌敦道を南下して信和中心に移動。例によってビルの最上階までエスカレーターで上ってから、下り下りつぶさにショップをチェックする。いくつかの新刊本屋では引き続きアルペジオ単行本を探すも、やはり見当たらず。出てないんだろうなあ。

最上階の隅に相変わらず「日本のAVのコピーDVD」を1枚200円くらいで売っている店があったが、2年前に大量に買った前回とは違って今回の自分はこれはスルーする。もう50歳になったらすっかりちんこが勃た…じゃなくて、AVならもう無修正物とかもXVideoとかでいくらでもタダで見られるからお金出して買うことないよな、な感じ。

## 香港版の「漂流教室」単行本

全11巻のセットが古本屋にあって、ひとめで心を奪われる。

何度も買ったやめた音頭を踊ったり店のジジイと値引き交渉をしたすえに、買ってしまいましたよ360HKD。

奥付を見たら20世紀に発行された物だったので、あるいは割とレアかも。



## MTRで尖沙咀へ

信和中心を出ると 21 時。あとは適当に、男人街の屋台街をぶらぶらして飯を食って帰るかと思ったら、

凄い**土砂降りの雨**。うわあ。

折り畳み傘をホテル荷物の中に忘れたという失敗を犯したのはともかく、これでは屋台歩きはちょっと厳しそうなので、残念ながら今回は屋台街の散策は中止することにした。



仕方ない尖沙咀までタクシーを拾って帰るか…とも思ったものの、みな考えることは同じなので、通りを走るタクシーなどつかまらない。

尖沙咀までは彌敦道をまっすぐ 2km ほど南下するだけなので、おそらくは横をぶんぶん通過するバスに乗れば行けたと思うが、バスの乗り方や路線をまったく調べていなかったもので、ぶっつけチャレンジするにはいささか面倒でリスクもある。

そこで MTR 荃灣線で帰ることにして、雨の中を信和中心から再度来た道に戻って 200 メートルくらい北上する。その途中で夕食を済ませた**茶鴨さんらに会い**、そのまま別れる。これから飯に行くとかいう所だったら自分もぜひ混ざって貰ったんだけど。

自販機でパスを発行して貰い、MTR 旺角駅から 3 駅乗って尖沙咀駅へ戻る。香港の人は地下鉄を降りる人を待ってから皆が乗る文明人だなあ、と去年の上海のことを思い出す。



## 夕食は鶏粥にする

22 時前にホテルに戻る。

ホテル Wifi でネットにつながると、明日マカオで合流するたちーから連絡が入っていた。当初は昼頃ホテルで合流して一緒にチェックインの予定だったが、先にホテルに入ってチェックインして貰って夜に合流でいいですか、との連絡。快諾して返事。

濡れた服を脱いで軽くシャワーを浴びた後に、エアコンの冷房を効かせたうえで、荷物を置いてホテルを出る。まずは夕食にしよう。雨はあがっていた。

尖沙咀の西側をしばらくうろうろした後、粥屋に入って夕食は鶏粥にした。コラーゲンがいっぱいの骨付き粥が 46HKD。

まあまあ食べられる味だったが、正直なところコスパはいまいちだなと思った。ていうかぶっちゃけアジアの粥料理なんていいとこ 400 円じゃね？とも思わなくもないのです。自分は別に粥にアジアのソウルフードを感じるわけでもないのに、これならいつもマカオレストランでいいやと思った。無理に現地料理を全部味わうつもりもないし。

実のところ重慶大廈の 1 階には Haram と看板のあるイスラムの食材や料理屋も多数あり、これも一度試してみたいな…と思うも、なかなかイスラムの方々に混じって食べるのは勇気が出ず見送っていたりすることもあり。

食後、雨はあがっていたので引き続き尖沙咀の西側をうろうろして土産物を探す。薬屋で黒人歯磨きとタイガーバームと、会社用の飴の袋を購入。

でも正直、2 年後あたりに次に香港に来るときには、もうこれまで 2 回宿泊した尖沙咀は止めて旺角の安宿にしようと思った。尖沙咀は確かに香港での「観光地」ではあるものの、基本は昼のブランドショップばかりで、自分が GP も終わった後の「夜」に歩いて面白い店はほとんどないんです。正確に言うと、この時間に開いているのは飯屋飲み屋と薬屋マッサージ屋と風俗くらい（笑）。旺角なら屋台街とかがすぐ近くにあるからね…。

日付が変わる頃に、ホテルに戻る。出る時に部屋をキンキンに冷やしておいたので、再度汗ばんでしまった服を脱いで、全裸でごろごろと天国を味わう。

1 時前に就寝。明日は初のマカオ観光。どうなるかな。楽しみだ。

## 2015年8月10日（月） マカオ観光

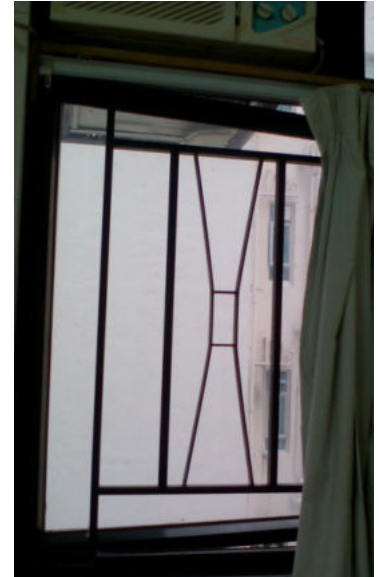
7時起床。今日は何も決めていないマカオ観光の予定しかないので、いつまで寝ていても良いのだが起きる。まずはシャワーを浴びる。いまいち熱くはならなかったが、それでもお湯が出るのは素晴らしい。これだけで星3つはつけられるよ。

このホテルは悪くなかったが、もう尖沙咀自体に泊まるのを止めようと思うので、次はないかな。

ホテルの窓からは向かい側の部屋しか見えないが、窓があるだけでも朝に明るくなって目覚められるのは良いよね。

ゆるゆる7時半、昨日のマジック日記を書き始める。

8時半に荷物をまとめ始める。まず本など固定サイズのを底へ入れ、プレイマットを中敷きに、未使用衣類と使用済み衣類を表に積み上げる。よし。今はとりあえず蓋が閉まればOKだ。



## 朝食はやはりマカオレストラン

荷物類をまとめると9時を回ったので、部屋を出る。挨拶してキーを返すだけのチェックアウトを終えて重慶大廈を出る。

カラコロを引きつつ通りを西側に横断し、別のマカオ系のレストランでトーストと目玉焼きと紅茶と麺類のモーニングのセットを頼む。これで38HKDは安い。





料理待ちの間に残金を確認。約 1000HKD。まあ 1 日マカオでカジノを含めてフルに遊ぶには足りないだろうから ATM で追加をおろそう。1000~2000HKD くらいかな？  
おいしく朝食をいただいて満足のコスパ。やっぱり香港での朝食はマカオ系レストランでいいや僕は。毎日食べられる安定の味。これからマカオに行くのに何だが（笑）。

## マカオ行きのフェリーの切符を買う

朝食を済ませて 10 時。タクシーを拾ってフェリー乗り場のあるビルに移動。タクシーの運転手は別れる際に「フェリー乗り場は上の階だぜ」と教えてくれる。感謝。

2 階に行きフェリーの切符売り場へ。目の前の空いている窓口に向かうとその 2m 手前に立っていた兄ちゃんが「フェリーか？片道切符は 180HKD だよ。買ったらあっちの列に並べ」と言ってきたので、そのまま支払い買う。しかし渡された切符をしげしげと見たら 164HKD と書いてある。税金を上乗せかな？と少し考えた後で真実に気がつく。

…あっ！あまりにも自然な売り方をしていたし目の前の窓口係員も何も言わなかったのでてっきりフェリー関係者かと思ったら、あいつ**ただのダフ屋**だ！

あるいは切符売り場が長蛇の列だったら納得ずくで喜んで割り増し 16HKD を払い買ってでもいいんだが、まさか誰も並んでいない窓口の前でこれをやられるとは思わなかったよ（笑）。

さらに入場を待つ列に並んだら、これが先頭が見えないくらいのゆるやかに長蛇の列。ダフ屋で買った意味がますます無い。





## フェリーに乗る

しばらく並んでから切符の半券を切ってゲートを通過した後、今度はイミグレの列に並ぶ。のだが自分の番が来てパスポートを見せると無愛想な係員に「香港出国カード」を出せ、と言われて門前払い。まあ書いていなかった自分が100%悪いのだが、うーん何というかこの**“Paper, Please”感**（笑）。

少し焦りながら列を抜けて机の上にあるカードにそそくさと必要事項を書いて再度並び、今度は無事に香港を出国。

10時半にフェリーに乗船。一番前のバッグ置き場に自分のキャリーを置いた後に、そこから一番近いエコノミーの最前列の空席に座る。

しかし実はフェリーは全席指定で、ここは他人の席であったことを後に知った。まあ、ガラガラで誰にも「そこは俺の席だ」とは言われなかったのだけど。

ほどなくフェリーは動き出した。案内ビデオにはローテーションで、日本語字幕がついていた。沖へ出たらしく、やがてネットによる通信はできなくなった。

ATMで香港ドルをおろしとくのを忘れたので、明日の朝までにいくら使うかを計画して、必要最小限のパタカをおろそうと決める。香港ドルはともかくパタカを余らせたくない。

## マカオ入国

1時間ほどしてフェリーはマカオに到着し、入国審査も何ごともなく終了。

そして「マカオ到着なう」とつぶやこうとして、通信ができないことに気がつく。

…あっ。そういえば金曜日に重慶大廈の1FでSIMカードを買った際にうっかり「国外で使用しない」と答えて設定してしまったが、よく考えれば（考えなくても）**マカオは国外**じゃないか。たぶんあそこで「マカオに行く」と答えていれば、おそらくさらに30HKDくらい払えばマカオでも使い放題にできたのではないかと思われる。大失敗。

仕方ないマカオの1日SIMカードを買うか…と思ってフェリー施設内を探すと、目的のSIMの自動販売機は複数見つかったのだが、どうしたわけかいずれも故障しているのか、紙幣を入れても反応せず購入できない。自分以外にも何人もがトライしては諦めて去っている。あるいはパタカ専用機なのか。まあホテルWifiでしのぐしかないか。

さらにATMでマカオの遊行費を調達。マカオのATMでは「パタカ」と「香港ドル」を選べたので、躊躇せずに香港ドルを選択し、2000HKDをおろす（さすがに余ったけど）。

マカオの通貨はパタカなわけですが、ほぼ同レートで香港ドルも普通に流通し実際の支払いも、お釣りで貰ったパタカ以外は全部香港ドルで区別せず行ったので、本書ではHKDで記述を統一することにします。

## ホテルにチェックイン

ではホテルGolden Dragonに移動しよう。ホテルのシャトルバスはあるかなー、と思いつつシャトル乗り場に移動するもリストの中にこのホテルはない。あるいは別のホテルの近くまで行くシャトルに乗れないかなと思って地図を見たりするも、よく分からないわ、白タクに声をかけられて盛大にふっかけられたりしたので、その場を去る。結局、普通にタクシー乗り場まで戻ってから、普通にタクシーを拾って13時前にホテルに到着。

さっそくチェックインを行う。パスポートを見せ手続き。予約でオーダーしていた「追加ベッド」も確認し、追加ベッドの料金のクレジットカード支払いにサイン。

チェックイン手続きは何ごともなく終了するも「部屋に入れるのは14時からです」と言われる。む、そうか。このため荷物をフロントに預けたうえで、近くで1時間のんびり昼食にすることにする。



## ホテルのバフェイで昼食

入り口の係員にスマホのホテル Wifi の設定をして貰い通信を確保してから（ブラウザ認証の必要があった）、階段を上り2階レストランに入り、値段も見ずに受付をくぐる。

人数を「1人」と伝え、ロビーを見下ろす好位置の席に案内される。



さてメニューの内容とお値段はおいくらかな…と思ったら、係員が「あちらです」と手をかざす。あ。ここはバフェイか。まあ、それなら法外な料金を取られることはなかろう。



さっそく荷物を机に置いて（客も他におらず見晴らしも良いのでまあ大丈夫と判断）、皿を取って思いのままにつまむ。

内容はまあ普通の中華。まだまだ暑かったのでオレンジジュースでもガブ飲みするか…と思いドリンクコーナーに行くと「お茶とコーヒーは無料だがジュースは別料金」とのこと。えー。…しかしまあ、これならば多分庶民的な値段のバフェイだろう、たぶん（笑）。

点心中腹をふくらませつつポットの氷水を何杯も飲み、さらにケチるほどの値段じゃないよなということでコーラ（12HKD）を何本か飲む。さらに順序が少し逆になったが粥とスープと春巻も頼む。さすがに春巻は普通に旨いな。

最後はデザートとコーヒーでしめ。まあ満足。

バフェイは80HKD+コーラ代だった。うん、ぜんぜんOK。



## 入室

1 時間ほどのんびり飲み食いをしたりネットを読み書きして今日の計画を立てるうちに 14 時になったので、改めてフロントで入室手続きをする。

自分のぶんのカードキーを貰い、追加の 2 名は夜に到着すると向こうに伝え「この名前の人間が来たらキー 2 個を渡すことに同意」する書類に、たっちーの本名を記入したうえでサイン。よし、これでよからう。

たっちーに部屋番号と、名前を伝えれば鍵が貰える段取りをメッセで送る。

14 時過ぎに入室。よし、窓側に追加ベッドもあるな。さすがに追加ベッドは M 神くんに使って貰うことになる以上たっちーのベッドはその横、自分が手前のベッドでよからう。手前のベッドに荷物を置く。

部屋で荷解きをすると、たっちーから「了解」との連絡が入ったので、観光に行くべく部屋を出る。充電ができておらずスマホの電源も切れかけているため、基本電源を切りカメラにだけ使用することにする。ま、どうせつぶやけないしな。





## タクシーでセナド広場へ

予定はセナド広場まで行ってから観光ガイドブック片手にチェック済みの周囲をぶらぶらすることしか決めていない、ほぼノープラン。15時、ホテルの前でタクシーを拾う。ガイド本のセナド広場のページを開き「Senado Square」の文字を指差して音読すると、タクシーは走り出した。

タクシーはやがて海岸沿いに出る。目の前に現れた海の観音像（観音蓮華苑）が美しく、スマホの電源を切っていて写真が撮れなかったのを後悔する。さらに風景を楽しみながら海岸沿いにMGMホテルの横を通りトンネルを通る…頃に「あれ？」と気がつく。

地図を引っ張り出して現在位置を確かめる限り、セドナ広場には**向かっていない**。ていうかセドナ広場はホテルから大通り（友誼大馬路～新馬路）をほぼ真西に行けばいいだけの筈で、そもそも南下して海岸沿いに出た時点で間違えている。これはもしかして、南のタイバ島に向かおうとしているのではないだろうか。

慌てて運転手に声をかけ、地図を見せて現在はこの辺を走っているはずの所を指で指し、さらにセドナ広場を指差して適当に英語でシャウトし続けると、運転手が頭を抱える。

**やはり間違えていたらしい。**

後から思うに、英語の地名を示すだけで通じていただろうと思った自分の失敗でもあったようだ。マカオの公用語はポルトガル語と中国語で、実は英語はそれほど通じるとは限らないのだった。

それから運転手は少し北上して、かなり混んできた通りに車を止め「目的地はここからはあっちに少し歩いた所にある。メーターは64HKDだが50HKDでいい」と言う。同意して車を降りる。痛み分け。

そしてほどなく歩くうちに、目的地のセドナ広場に着いた。ここかー。ステキな風景だ。



## 名物の牛乳プリン

ではここからはぶらぶらしよう。手始めにすぐ横にあった市でTシャツを物色して定番の「I Love Macau」のTシャツを買ったり、コンビニで地図を買ってこちらを頼りにしようとしたりする。コンビニに商品を卸す「黒人」歯磨きトラックという珍しいものを見た。ま、こちらでは大々的に展開。



さらに再度ガイドブックを開き、じゃあひとつこの義順牛奶公司というマカオ名物の「牛乳プリン」の店に行ってみるか、と思って歩いて探すと、これが迷った迷った。

セドナ広場は高台にあって、そこからほぼ放射状に道が広がっているので、なかなか店を発見できずに坂道を降りたり登って戻ったりの繰り返し。疲れる。

しかしやがて目的の店を発見。地味な入り口に目の前を通過してさらに先を探していたのだった。牛乳プリンおいしかったです。

## ハローキティーを求めて迷う

さらに次のチェック済みの目的地として、「ハローキティー」のスイーツ屋である Hello Kitty OBRIGADO を探したのだが、これがさらに輪をかけて迷った。目的の店を一向に発見できずに坂を降りたり上ったり **1 時間以上も** さんざん迷走したうえで、とうとう 哪吒古廟（旧ナーチャ廟）のあたりまで行ってしまったのだから酷いものです。





セナド広場。スタート地点です。

牛乳プリンの店



哪吒古廟はこのへん。

ハローキティーはこのへん。



Copyright: Google

しかし何度かセドナ広場に戻ったうえ坂道チャレンジを繰り返し、やっと目的地に到着。  
キティドリンクを飲み、キティスイーツを土産に購入。

ここまで盛大に迷い続けたのには、まあひとこと言えば「土地勘がない」だけの話なのですが、何よりも現地の「距離感」を完全に勘違いしていたことが一番の問題でした。  
観光ガイドの地図のスケールを見誤っていて、起点の広場からほんの 50m くらい歩けばあるような通りや店の存在に気がつかずに一瞬で通り過ぎてしまってから、全然違う角で曲がってしまうようなことの繰り返しだったのです。

## 聖ポール天主堂

そろそろ 17 時を回って、いい加減に歩き疲れたのでもう帰ろうかなあとも思ったものの、ガイドブックにある大三巴街の通りの商店街はやはり見ておきたいと思ったので、今度こそ地図で場所を確認しつつ、市の風景を楽しみつつ坂道を登る。やっぱり来て良かったこのゴミゴミ市場ぶり。こういう雰囲気大好き。特に何も買わなかったし、坂道を登るのはいささか疲れたけど、これはなかなか楽しかったです。



そして息を切らせながら大三巴街坂道を登り切ると、突然視界が開けて目の前にだしぬけに世界遺産の聖保祿大教堂遺址（聖ポール天主堂跡）が姿を見せる。

おおっ！これはなかなか感動的な光景。美しい。

**信仰というのが深まる瞬間**を目の当たりにするかのようだ。まあ、疲れていたしお参りもしなかったけど（笑）。

## タクシー拾えません地獄

聖保祿大教堂遺址の前にはタクシー待ちの長い列があったので、結果論から言えばここでタクシーを拾ってまっすぐホテルに帰るのが正解だったのだが、ここで自分はまだ時間もあったことから、一本降りた通りの骨董街を覗いてみることにした。

骨董街はそこそこ楽しかったものの（何も買わなかったが）、ではそろそろ帰るかなと思ってタクシーを拾おうと近くの大通りに出るも、まったくタクシーがつかまらない。空車のタクシーはそこそこ走っているものの、手を上げても無視されるのみならず、信号待ちで停まっているところに走り寄って声をかけてもガン無視される。これには驚いた。あるいはタクシー乗り場以外の場所で客を拾ってはいけない規則でもあるのだろうか。

また坂を上って聖保祿大教堂遺址まで戻るのも嫌だったので、そのうちタクシー乗り場もあるだろうと大通りをつらつらと歩くも、それらしい乗り場が見当たらないまま、西海岸沿いまで来てしまいます（ホテルとは完全に正反対）。せめてホテル方向に歩いていれば最悪で歩いて帰るという選択肢もあったもののそれも果たせず、やがて次第に薄暗くもなってくるわ、スマホの電源も切れてしまうわで正直これは真剣に**ヤバイ**と思いました。結局タクシー乗り場を探してそれから1時間近くも歩いたすえに、やっと停まってくれた流しのタクシーを捕まえてホテルのフロントで貰った紙を渡して無事に帰りつけます。はっきり言ってかなり無駄に疲れたし、もう20時になってしまいました。無駄に道に迷ったのはあるいは自業自得にしても、タクシーがまともに拾えないのには、心底げんなり。もうマカオになんか来るもんかこの時は強く思ったものです。

## サウナへ

ホテルの部屋に戻ると、たっちーが爆睡しており、M神さんは起きていました。そこで自分は「へとへとなので、飯とサウナとマッサージを受けてからカジノにも行きます」とM神さんに伝えて、スマホの充電をセットしたうえで部屋を出ます。

中の写真は撮れなかったので書くことはあまりないのですが、とりあえず施設内のサウナ風呂で汗を流して食事をしてマッサージを受けて疲れを取ります。

実のところ、ここは本番を含む**性的サービス**もやっているサウナの店なのでしたが、

その手のサービスは一切受けませんでした。

より正確に言うと、メニューをオーダーする際に強く「マッサージのみ」を強調のうえで、しかもそれでもなおマッサージの最中に施術師の女性がしきりに「あと 1000HKD 払うとスペシャルなサービスするよキモチイイヨー」という誘いをしてきました（笑）。

しかしながら、いやいやいやいや俺は疲れを取るためにここに来たんだよ、第一手コキでその値段は高いにも程があるだろう（※）と思ったので頑として突っぱねただけの話ではあるのですが。じゃあ安ければ頼んだのかと言えば（メモはここで途切れている）。

※ぶっちゃけるとメニューを見る限り本番で 2000～3000HKD くらいかかる感じでした。うん、安くないです。

ちなみに、基本は性的サービス要員でなくマッサージ要員である女性施術師だったのでマッサージ自体は普通に気持ち良かったです。さらに簡単な軽食は施設利用料にセットで含まれていて無料で頼めたので、コーラをがぶ飲みしたうえで（5～6杯飲んだと思う）ラーメンを頼んで夕食を済ませました（あまりおいしくなかったです）。

## カジノへ

サウナ風呂とマッサージと食事を終えて、少し元気も回復してきたのでホテルのカジノを覗きます。しかし前情報どおり、ブラックジャックや大小などの対人テーブルゲームは、いずれも**ミニマム 100HKD** であり、いやいやそれはやっぱりちょっと無理だよ、ということでパスすることに。種銭を 3000HKD くらいは用意しないとともにゲームに参加できないうえに、かつそれを 30 分もかからず溶かす可能性も普通にあるゲームは、やっぱり今の自分の資産と懐具合では、うん、ちょっと無理。

ではせめて貧乏人のお供のスロットマシンでもやるか、ということでミニマム 25 セントだの 5 セントだのの台を除く。

しかし実のところ、スロットは 1 ラインでは話にならないのでフルにベットして 1 回して 3HKD くらいは使う必要がある（それでも十分に安いけど）のはともかく、何というか、

ぶっちゃけ台のバリエーションが**しょぼくて**派手な演出も皆無で、あまり回す気にはなれない。これならまだラスベガスの空港のスロット台のほうがだいぶマシだ。  
小一時間くらい適当に回して、100HKD くらいすった所でカジノはおしまいにする。

## コンビニへ買出し

ではそろそろ寝ようかなと思うも、その前に今夜ホテルの部屋で飲み食いするものを調達する必要がある。コンビニに行かねばなるまい。

そこでフロントに行き「Convenience Store はこの近くにあるか？」と聞くも、これが通じなかった。あれれ「コンビニエンスストア」って和製英語だったっけ？ それとも、自分の発音の問題かな？

そこで一計を案じて今度は「**セブンイレブン**はあるか」と聞きなおすと「あるけど、少し遠いよ」という返事。を、通じたようだ（笑）。そこで質問を切り替えて「じゃあ、そのような店は他にないか」と聞くと「通りをはさんだこのホテルの向かいにあるよ」という返事。よし目的を達成。礼を言ってフロントを後にする。

蒸し暑い中をホテルを出ると、確かに目の前にそれらしい店があった。車通りはほとんど無かったものの、少しだけ左に移動して交差点を渡り、右に移動して目的の店に入る。コンビニというよりスーパーみたいな感じだったが、まあ夜中にやっているなら無問題。多めにドリンクを買い、ポテチとアイスも買って店を出てホテルに戻る。

部屋に戻るとたちーが起きていた。たちーも夜の飲み物を買いたがったようなので、店の場所を教えて送り出してから、ベッドの上で適当にポテチをつまみコーラを飲んだ後、日付が変わる頃に就寝。



地理を掌握できてさえいれば、全部自分で歩いたほうがまだマシな感じです（涙）。



## 2015年8月11日（火） 帰国日

6時半に全員起床。

3人とも昼過ぎに香港発の便だが、余裕を持って10時前には香港空港に着いておきたい。  
ということは逆算すると8時にはフェリーに乗りたい。

朝食は香港空港で取ろうということで、7時過ぎに荷物をまとめて全員チェックアウト。  
ホテル支払いが確定したので、たちーから2/3の料金を日本円で貰う。  
そのままタクシーを拾ってフェリーターミナルへ。

昨日のターミナル到着時に、帰りの香港空港行き券売所はエスカレーターで上った2階にあったことを確認していたので、タクシーで到着するなり2人に「こっちだよ」とエスカレーターで上ったらそこは土産物フロアだった。あ、そうか。タクシーは最初から2階の出発ロビー側に着けてくれたのね（笑）。頭をかきながらエスカレーターで下りる。

香港空港行きの券売所の窓口で聞くと、どうやらHKExpressを利用する自分は、荷物を一緒に日本行きの飛行機まで直送してくれショートカットできそうな感じもあったのだが、まだそのフェリーは1時間以上待つようでもあったのでそのチャレンジは止めて、2人と一緒に行きと同じ九龍へのフェリーの券を買う。1人なら試してみただろうけど。

パスポートを提示してマカオ出国手続きも通過して、少々待合室で待った後に乗船。  
何ごともなく1時間ほど船内で寝ているうちに、8時半に香港に戻った。  
同時に通信も回復したので「香港到着なう。」とつぶやく。

パスポートを見せて香港への再入国を終え、3人でタクシーを拾って香港空港へ直行。  
9時20分、香港空港に到着した。

全員、昼過ぎの便であるためチェックインはまだ始まっていないので、朝食にすることに  
する。実際、空腹だしね。

## 空港の朝食

出発ロビーを少々回ってから点心の店に入る。適当にメニューを指差して注文する。  
よくわからんものや、牛肉の米巻や肉のピーマン巻きや鶏足を堪能。うます。



頼んだものを全員で全部食べ終えたので、レストランを出てから今の飯代とタクシー代の1/3をたちーに払って精算すると10時半になった。

1時間早い2人の便はそろそろチェックインが可能になっていたようだったので、ここで2人と別れる。次にたちーに会うのは11月のGP神戸かな。

## 食後のおかわり

2人と別れた自分は、実はまだ全然満腹でなかったことから再度フードコートに上り、マカオのファストフード店に入り、朝食をもうひとつまみする。33HKD。

半熟目玉焼きとベーコンとハッシュポテト  
うますうます。

マカオの洋軽食は自分の舌にあうなあ。



さすがに今回はバッグがパンパンなので、機内持ち込みは諦めよう。ていうかこれはどう見ても追加料金が発生するレベル。

「漂流教室」全 11 巻が効いたな。

正直、引いて歩くのすら重い荷物なので、さっさとチェックインをして預けてから、最後の土産買いツアーに参加しよう。



自分の便は 13:20 発なので、1 時間後にチェックイン開始だろうな…と思いつつ、フードコートでのんびり座ってスマホをいじって数独やねこあつめをして暇を潰す。

## チェックイン

11 時 10 分、HKExpress のチェックインカウンターに並ぶ。すでに 20 人くらいの列。

11 時 30 分、自分の番が来たのでカウンターに荷物を預けて追加料金を計算して貰う。

…しまった **19kg** もある。重かったわけだ。470HKD も取られたよ orz。

しかもカウンターでは現金払いは不可でクレカ払いのみ。絶賛、香港ドル余り中（マカオパタカ少々も）。まあ、余った香港ドルは 10 月の高雄（台湾）観光で再両替して使うつもりだけど…。

続いてイミグレを通過してからセキュリティへ向かい、セキュリティも無事に通過すると正午になった。

免税店で土産のワインを買う。

あ、エッグタルトを土産に買い忘れた…。

シャトルでターミナルまで移動してゲート 511 に到着。

では、あとは待つだけだ。



## 搭乗

12 時半にもなると、ゲート前に人が長い列を作り始めたが、まだ慌てるような時間じゃないよね…。どうせ帰りは成田で荷物が出てくるのを待つ羽目になるのだろうし。

12 時 50 分、そろそろ自分も短くなった列の最後尾に並んでから、ゲートを通してバスに乗る。

そのまま機体の搭乗口まで移動して、搭乗。

特に指定はしなかったが窓際の席だった。  
まあ、この意味でも降りるのは遅れそうだよな。急いでないからいいけど。



## 帰国

13 時 20 分。そろそろ離陸なので通信を切る。次は日本だ。

機内では寝たり数独で暇を潰すくらいで、なにげともなく 4 時間余のフライトを終えて、18 時 40 分に成田空港に到着します（ここからは日本時間で表記します）。

あ、HKExpress って、日本着の便でも日本語のアナウンスを流さないんだな。

窓際の席なので、急いで降りるのは無理なので、他の乗客が降りるのを 10 分ほど待った後で、自分も降りる。

19 時過ぎに何げともなくイミグレを通過し、荷物待ち。

結局はここで待つことになるわけなので、まあ急いで下りても仕方ないとも言う。

15分ほど待つて荷物を受け取って、妙に質問の多い税関を通過してから、J R成田空港第2ターミナル駅のホームで19:37の総武線の久里浜行き快速を待つ。

普通に乗車し、20:50に新小岩に到着。

夕食はココイチにしたくもあったのだが、今更荷物を引いて駅前を長歩きしたくなかったので、南口の松屋で夕食とする。日本のソウルフード松屋。

夕食後、タクシーに乗って21時10分、帰宅。

これで今回のGP香港も終了なのでした。

(完)

今回の反省：

正直なところ、今回の香港旅行はかつてないくらい観光部分は失敗とトラブルの連続だったのですが（特にマカオ）、とりわけ大きかったのは「ネット環境の構築失敗」に加えて「充電失敗」というのが地味にキツかったです。

特に痛かったのは、コンセントから直接給電するタイプのUSBアダプタ（写真）が実は壊れていたようで、スマホに電源を常時供給していた携帯バッテリーを寝ている間にホテルで充電していたつもりがまったく充電できてなかったのに何日か気がつかずに、携帯バッテリー自体が使いえなく



なってからこれに気がついたもののもう遅く、結果スマホにも充電できなくて大いにトラブった…ということがありました（このアダプタは捨ててきましたが）。

後にノートPCのUSBアダプタから給電というものもやったのですが、これがまたノートPCがスリープに入ると給電が切れてしまうという始末で（笑）。

# 広告

2013 年に GP ラスベガスに行った楽しい体験をコピー本で出して以来、味をしめ以後は海外 GP に行く度に同じフォーマットで本を出すことにしているわけですが、そんな GP 海外旅行本も本書で早くも 7 冊目になりました。

最初は頑張ってコピー本で作りましたが、現在のオンデマ印刷の安さと品質を知ってから次の GP 香港 2013 本からはオンデマ印刷に切り替えました。オンデマ印刷万歳。

|                      | 発行年月    | 頁数   | 冊子版   | PDF 版 |
|----------------------|---------|------|-------|-------|
| Origins ハンドブック       | 2008.4  | 44   | 600 円 | 600 円 |
| GP ラスベガス 2013 参加記    | 2013.8  | 40   | 完売    | 300 円 |
| GP 香港 2013 参加記       | 2013.12 | 39+8 | 完売    | 300 円 |
| CWT 香港場 IV 参加記       |         |      |       |       |
| GP クアラルンプール 2014 参加記 | 2014.8  | 48   | 完売    | 300 円 |
| GP 台北 2014 参加記       | 2014.10 | 56   | 300 円 | 300 円 |
| GP 上海 2014 参加記       | 2014.12 | 56   | 300 円 | 300 円 |
| 葬式騒動記                | 2014.12 | 32   | 300 円 | 300 円 |
| オタクのためのエンディングノート     | 2014.12 | 44   | 300 円 | なし    |
| GP ラスベガス 2015 参加記    | 2015.8  | 60   | 400 円 | 400 円 |

GP 旅行本以外を含めて、2015 年 9 月現在、上記の同人誌類を扱っております。

既刊については、印刷在庫がある限り冊子版を頒布しておりますし、さらに在庫の有無にかかわらず PDF 版を常に頒布しております。

基本的に即売会などでお求めいただきたいと思いますのですが、通販またはダウンロード販売をご希望の方は、奥付のメールアドレスまでお問い合わせください。





ドアノ シュウリダイヲ モラウゾ

## GP 香港 2015 参加記 (v1.00)

発行：新小岩マジック <https://twitter.com/kondohi>

発行日：2015年10月4日

印刷所：日光企画

本書の文章や写真などの無断転載を禁じます

筆者（近藤博次）について：

<https://twitter.com/kondohi> （ツイッター。最近はここメインです）

<http://otakutalker.diarynote.jp/> （ダイアリーノート。マジック関連はここで）